

群馬交響楽団メンバーによる栗林公園コンサート

弦楽四重奏の調べ



弦楽器の豊かな音色で
優雅なひとときを

栗林公園内商工奨励館北館ホール
(東門入り口すぐ)
TEL: 087-833-7411 (栗林公園)

開場 12:30

開演 13:00

一般 ¥3,000

中・高校生 ¥1,500

2025
11/3
(月)

Program

W.A.モーツァルト: ディヴェルティメント K.136
ヘンデル: 水上の音楽よりアラ・ホーンパイプ
ルロイ・アンダーソン: フィドル・ファドル 他

【プレイガイド】

- レクザムホール ●高松国分寺ホール
- ユープラザうたづ
- アイレックス ●香川県庁生協

【公共交通機関のご案内】

JR『栗林公園北口』駅より徒歩3分
『栗林公園前』バス停より徒歩1分
ことでん『栗林公園』駅より徒歩10分

【お問い合わせ】 090-1004-5973 (事務局)



※県内在住65歳以上の方は
栗林公園の入園料は無料。
但し身分証明書の提示が必要。

Profile

●群馬交響楽団

1945年11月、敗戦後の荒廃の中で人々を音楽で励まそうと高崎市民オーケストラが創設され、1963年に群馬交響楽団となる。創立当初より子供達に生の音楽を届けることと社会的弱者への慰問の音楽活動の2つの柱は、プロのオーケストラとしての幾多の公演活動と共に今なお引き継がれている。群響の地域に根ざした活動から、県民から「群響は群馬の宝」として強く支持されている。

2003年、NHKテレビ番組「プロジェクトX」で楽団の草創期が紹介され大反響を呼んだ。又、6年前に開館した高崎芸術劇場が現在の「群響」の活動拠点だが、それまで活動拠点だった群馬音楽センターは終戦直後に群馬市民によって建設されたもので群馬音楽センターの前には「市民の浄財によって建立す」の碑が立っている。そしてこの音楽ホールは今なお現役のホールである。なお、山本直純、小澤征爾が初めてタクトを振ったのは「群響」である。敗戦直後に創設した「群響」は今年80周年を迎える。



筒井 志帆 Tsutsui Shiho (ヴァイオリン)

香川県高松市牟礼町出身。4歳よりヴァイオリン、ピアノを始める。

香川県立高松高校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科を卒業。翌年、群馬交響楽団に入団。

ヴァイオリンを藤野妙子、服部芳子、故・岡山潔、漆原朝子の各氏に師事。UDON楽カウントダウン高松コンサート等においてコンサートミストレス及びソリストを務める外アンサンブル神戸と共演。

2014年、ドイツ・ハンブルクに一年間留学。その間、Stefan Wagner(NDRコンサートマスター)及びAdrian Iliescu(ハンブルク交響楽団コンサートマスター)両氏に師事。2015年ハンブルクにてハンブルク領事事務所主催の東日本大震災支援の感謝を表す「Dankes Konzert」にコンサートミストレスを務める。

2013年度、香川県文化芸術新人賞受賞。2014年より高松市観光大使を務める。



高 杉 Gao Shan (ヴァイオリン)

中国雲南省出身。ヴァイオリン奏者の父の指導でヴァイオリンを7歳から弾き始める。

昆明市立交響楽団ヴァイオリン奏者を経て、上海音楽学院ヴァイオリン専攻を首席で卒業、雲南芸術学院で教鞭をとる。その後、中国国立交響楽団に入団、ユーディ・メニューイン、シャルル・デュトワ、ゲンナジー・ロジェストヴェンスキーなどと共演。

東京芸術大学大学院修士課程を修了し、2004年より群馬交響楽団に入団、ヴァイオリン奏者として活躍、現在に至る。

また、室内楽奏者としても、多方面において積極的に活動を展開している。これまで、リナ・ユ、エディワ・グラチ、ユーディ・メニューイン、岡山潔の各氏に師事。2010年11月から、トリオ・アンファリアのヴァイオリニストを務めている。



©K.Miura

池田 美代子 Ikeda Miyoko (ヴィオラ)

桐朋学園大学音楽学部卒業。

在学中は選抜メンバーとして桐朋学園オーケストラの海外公演に参加。

卒業後はヨーロッパ各地の講習会に参加して研鑽を積み、イタリア、キジアーナ音楽院にてディプロマ名誉賞を受賞、ポーランド国際マイスターコースにて開催されたコンペティションでは審査員の満場一致で最優秀賞に選ばれた。

(公財)群馬交響楽団の首席ヴィオラ奏者を努める他、客演首席奏者、室内楽奏者として日本各地のオーケストラ公演や音楽祭等に出演している。

ヴァイオリン、ヴィオラを江戸純子、岡田信夫、クロード・ルローン各氏に師事。



©Keisuke Nakanishi

長瀬 夏嵐 Nagase Karan (チェロ)

1975年長野市に生まれる。幼少期より才能教育研究会チェロ指導者である父からチェロの手ほどきを受ける。14歳より単身豪州シドニーセントアンドリュースカセドラル学校に特待奨学生として留学。長野アスペン音楽祭、イキジアーナ音楽院にてディプロマ、奨学金を獲得。コロラドアスペン音楽祭にてエマーソン SQのダヴィッド・ファンケル氏の元で研鑽を積む。霧島国際音楽祭にて特別奨励賞、併せて特別優秀演奏賞を受賞。全日本ビバホールチェロコンクール上位入賞他、多数の国内外受賞歴を有す。2002、2005年2度にわたり小澤征爾、故 M・ロストロポーヴィッチ両氏らとキャラバンコンサートツアーに抜擢。2007年モスクワ、クレムリンで行われた故ロストロポーヴィッチ氏80歳記念式典に招待を受ける。桐朋学園大学ソリストディプロマコースを経て、2005年から13年間群馬交響楽団チェロ奏者を務める。2019年群馬交響楽団首席チェロ奏者に就任。これまでに長瀬冬嵐、ミシャ・ゴルバトフ(元シドニー交響楽団チェロ奏者)毛利伯郎(元読売日本交響楽団ソロ首席奏者)、室内楽を原田幸一郎、加藤知子、練繁夫の各氏に師事。使用楽器は1905年製 Enrico Rocca